

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホーム フレンズハウス七反野

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	福田小学校のトワイライトの子供たちが20名ほど来訪し、レクリエーションなどして利用者は子供との交流を楽しんだ。ホームでの大正琴の演奏に近隣の人を誘い利用者と一緒に楽しんでもらった。その他に定期的にマジック、オカリナ、太鼓などのボランティアが来訪している。地域の運動会、盆踊り、秋祭り、避難訓練など参加できる行事に顔を出している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	2ヶ月ごとに年6回行われている。いきいき支援センター職員は毎回出席している。認知症カフェや回想法サロンやいきいきコールなどの取組みについて話してもらっている。今まではお祭りに来賓として出席していたが、今後は準備段階から手伝いに行き、地域貢献及び交流をさせてもらいたいことを会議の中で伝えている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	いきいき支援センター内にグループホームを知ってもらうために、利用者が作った作品を飾らせてもらっている。あじさいや花火の貼り絵で、今後も季節に合わせ作る予定である。港区事業者連絡会や港区介護フェアに参加し、役所といきいき支援センターと協力して地域に貢献できるよう取り組んでいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族の来訪は頻繁にはないが、必要なことは電話で伝えている。「フレンズ通信」は2ヶ月ごとに、新たに「広報フレンズ」を半年ごとに発行し、利用者の日頃の様子やグループ全体の取組みなどを発信している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				